

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年11月29日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会 生涯学習課
-----	---------	-----	-------------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成28年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもフェスティバルいきいき合衆国で遊ぼう ・日帰りだよ！親子忍者大会体験 ・子どもフェスティバル忍者大会 ・プチ!!親子避難生活体験 ・忍者大会30回(30年)記念大会 ・青年リーダー研修 ・日帰りだよ！集まれ!!未来の麵職人 子どもフェスティバル集まれ!!未来の麵職人 ・めざせ!!やなせたかし先生 など 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員127名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km</p>		
職員体制	職員:所長1名 総務経理課長1名 事業課長1名 指導係長1名 指導主任1名 指導員1名 調理主任1名 調理員3名 警備宿直3名 合計:13名		

2 収支の状況

(単位:円)

		H27年度(決算)	H28年度(決算)	H29年度(予算)
収入	県支出金	38,473,000	38,747,000	39,120,000
	事業費収入	858,045	771,424	812,000
	収入計	39,331,045	39,518,424	39,932,000
支出	事業費	1,722,431	1,418,436	1,560,000
	管理運営費	10,382,463	9,307,480	10,107,000
	人件費	24,312,758	25,865,239	25,307,000
	消費税	2,913,393	2,927,269	2,958,000
	支出計	39,331,045	39,518,424	39,932,000
使用料収入		2,130,620	2,374,910	2,136,000

3 利用実績

(1) 宿泊者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
宿泊者数	7,252	6,869	6,736	6,672	7,481	7,002

(2) 利用団体数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
団体数	154	160	166	165	175	164

(3) 利用者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
人数	16,194	15,027	14,627	14,931	16,469	15,450

4 業務の評価

項目	状況説明
① 利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定番事業である「忍者大会」の第30回(30年)大会を実施し、好評を得た。 ○ 「忍者大会」の参加者には、お礼状と次年度の主催事業案内チラシを送付し、参加者のフォローアップに努めている。 ○ 地域や学校、関連団体との協力や連携を密にし、事業の実施や取組の充実に努めている。 ○ 主催事業案内チラシを各学校や団体が応募しやすい期間に配慮して送付するなど、利用者の立場にたった取組を行い利用促進へと繋げている。
② 利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊学習においては、学校が「何を目的とし」、「何を求めているのか」をきめ細やかに把握し、指導の役割分担を検討し、より良い学習効果が得られるよう真摯に取り組んでいる。 ○ 利用者の希望に沿って、休館日に開館した。 ○ 近隣の観光施設との連携割引企画を継続し、地域の集客に貢献した。 ○ 「ネイチャーゲームリーダー養成講座」や「不審者対応訓練」など、様々な研修会に積極的に参加し、職員の資質・指導力の向上に取り組んでいる。
③ 施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ○ セルフモニタリングシートを活用し、自己点検を行い業務改善に取り組んでいる。 ○ ビーイングを取り入れ、職員同士が気付いた点を相互に指摘しあい、またそれを改善することで、個々の成長を図りながらより良い関係を構築し、施設の発展に繋げている。 ○ 足元が滑りやすい箇所に防滑対策を施し安全に配慮した対応を行うなど、施設指導者研修での学びを取り入れた運営を行っている。 ○ 学生ボランティアを「青年リーダー研修」で育成し、主催事業に積極的に活用している。
④ 利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度と比較して、宿泊者数:809名増加、利用団体数:10団体増加、利用者数:1,538名増加となっている。
⑤ 収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度と比較して、施設使用料収入は約244千円の増収となった。 ○ 管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成28年度決算額(県支出金):38,747,000円
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の目標がしっかりと共有されており、高い経営意識を持って取り組んでいる。 ○ 清掃が常に行き届いており、きめ細かい気配りのある管理運営ができています。 ○ 主催事業については、目標を掲げそれを実行し自己の力で達成させた上で振り返ることを一貫してプログラム化しており、PDCAサイクルの重要性を、楽しみながら身につける取組を行っている。 ○ 定番事業である「忍者大会」の第30回(30年)大会の開催については、利用者の需要のもとに長年継続されたものにほかならない。事業の充実度を図るために常にカスタマイズを行い、より良いプログラムを提供し続けた取組は大いに評価できる。 ○ 利用者数・宿泊者数ともに増加しているが、どういった取組が増加に結実したかの検証を行い、更なる利用者増に繋げるよう期待する。 ○ 学校への利用案内やお礼状の送付については、事業のキーマンとなる先生あてに送付するといった効果的な取組や、リピート活用してくれる先生をリサーチして他校へも口コミで紹介していただけるようにPRするなど、人的ネットワークによる相乗効果を意識した取組の推進に期待する。 ○ インスタグラムやフェイスブックなどのSNS媒体を有効的に活用し、新たな手法による情報発信の実施を期待する。 ○ 豊かな自然環境(山・川・滝など)に恵まれた施設の立地条件を活かし、「自然体験活動」に特化したプログラムの構築を期待する。 ○ 事業の実施や施設運営において、更なる充実化や円滑化が実現できるよう、「アサーション」や「ファンリテーション」を意識した取組にも期待したい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの